

---

京田辺市  
子ども・子育て支援に関するアンケート調査（妊婦）  
報告書

---

令和6（2024）年8月



## 目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の実施について	1
3.	調査票の回収状況	1
4.	留意点	1
II	調査結果	2
1.	基本属性について	2
2.	お子さんの人数について	4
3.	出産場所や出産後に過ごす場所について	5
4.	出産前後のお手伝いについて	6
5.	妊娠への気持ちと相談先について	8
6.	就労状況、育児休業について	9
7.	サービス・事業の利用について	11
8.	子育てに関することについて	13
III	調査結果からの分析	16
1.	お子さんの人数について	16
2.	出産場所や出産後に過ごす場所について	16
3.	出産前後のお手伝いについて	16
4.	妊娠への気持ちと相談先について	16
5.	就労状況、育児休業について	16
6.	サービス・事業の利用について	17
7.	子育てに関することについて	17



## I 調査概要

### 1. 調査の目的

「(仮称)京田辺市こども計画」の策定に向け、妊娠中及び出産後の方が必要としている子育て支援施策を把握するため、子ども・子育て支援に関するアンケート調査(妊婦)を実施しました。

### 2. 調査の実施について

調査対象者	令和5(2023)年11月の妊婦健診受診者(全数調査)
調査期間	令和6(2024)年3月12日(火)～令和6(2024)年3月29日(金)
調査方法	郵送による配布、郵送・Webによる回答

### 3. 調査票の回収状況

調査票	調査対象者数(配布数)	有効回収数	有効回収率
妊婦	217名	148件	68.2%

### 4. 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下のとおりとなっています。

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中にMA(Multiple Answer=いくつでも)、3LA(3 Limited Answer=3つまで)と記載しています。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。

## Ⅱ 調査結果

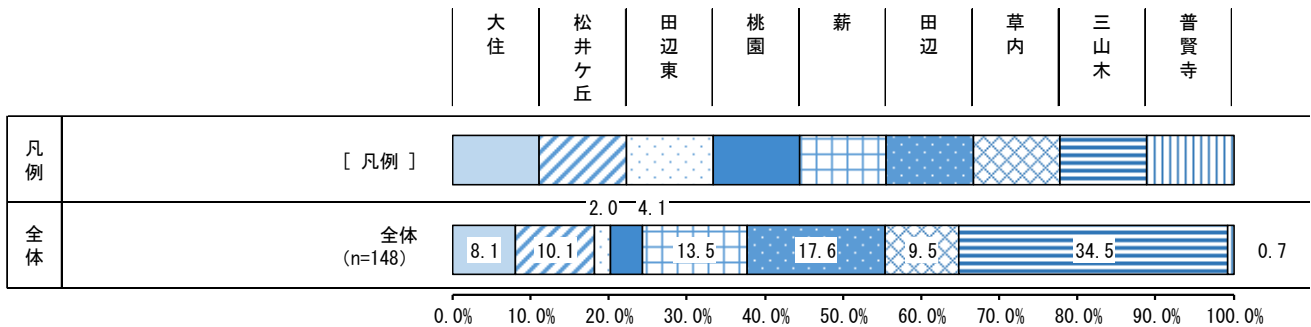
### 1. 基本属性について

問1 お住まいの小学校区はどこですか。

#### 【全体】

- 小学校区について、「三山木」が34.5%で最も多く、次いで「田辺」が17.6%、「薪」が13.5%となっています。

#### 【小学校区】

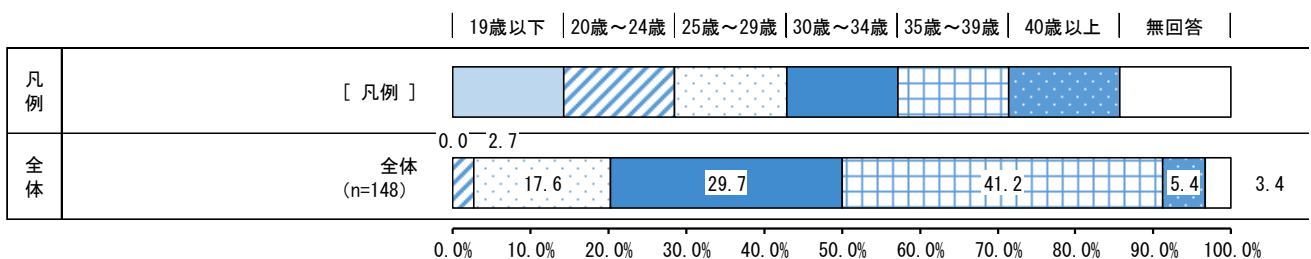


問2 (1) 年齢をお答えください。

#### 【全体】

- 母親の年齢について、「35歳～39歳」が41.2%で最も多く、次いで「30歳～34歳」が29.7%、「25歳～29歳」が17.6%となっています。

#### 【母親の年齢】

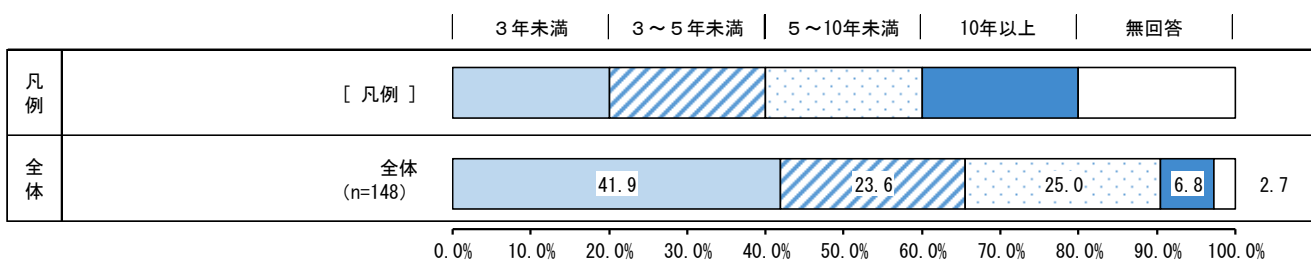


問2 (2) 本市での居住年数をお答えください。

#### 【全体】

- 居住年数について、「3年未満」が41.9%で最も多く、次いで「5～10年未満」が25.0%、「3～5年未満」が23.6%となっています。

#### 【居住年数】

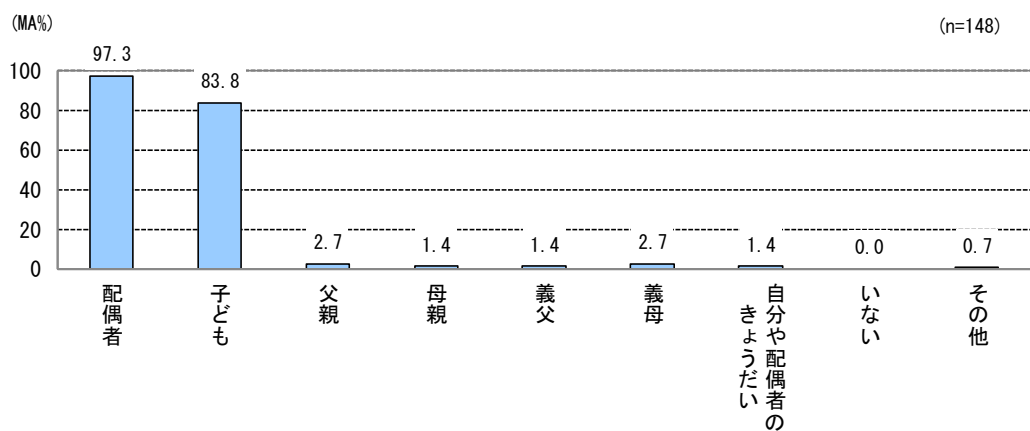


問3 現在、あなたと一緒に暮らしているご家族は、どなたですか。(MA)

【全体】

- 同居家族について、「配偶者」が 97.3%で最も多く、次いで「子ども」が 83.8%、「父親」「義母」が 2.7%となっています。

【同居家族(MA)】

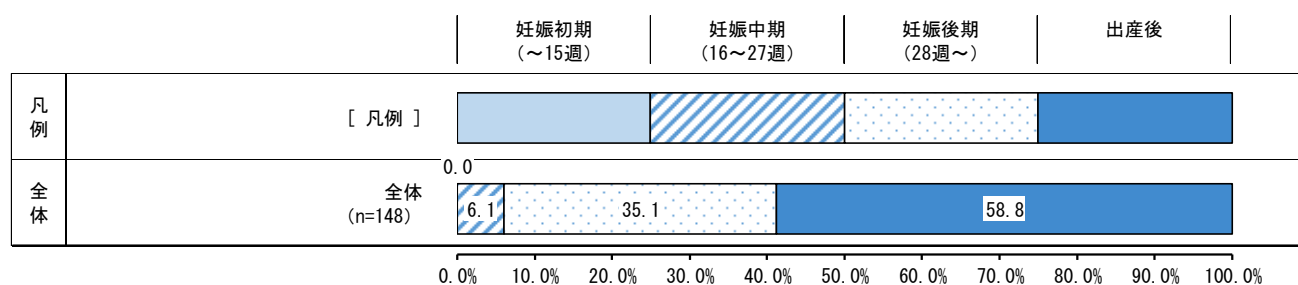


問4 現在の妊娠週数についてお答えください。

【全体】

- 現在の妊娠週数について、「出産後」が 58.8%で最も多く、次いで「妊娠後期（28 週～）」が 35.1%、「妊娠中期（16～27 週）」が 6.1%となっています。

【現在の妊娠週数】



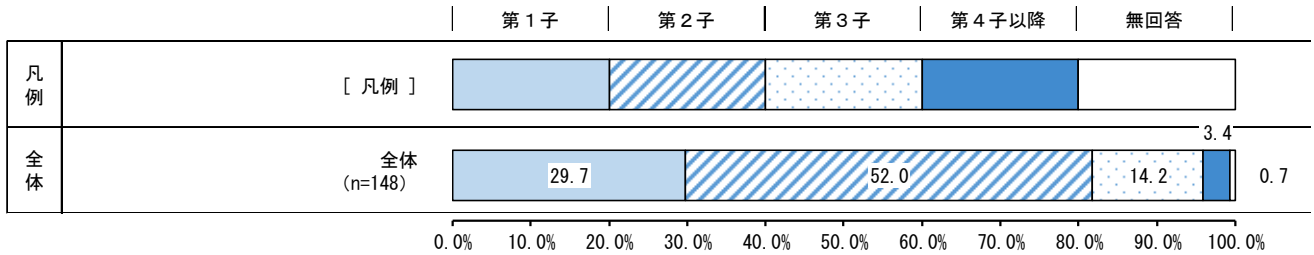
## 2. お子さんの人数について

問5 今回出産されるお子さんは何番目のお子さんですか。

### 【全体】

- 出産されるお子さんは何番目のお子さんかについて、「第2子」が52.0%で最も多く、次いで「第1子」が29.7%、「第3子」が14.2%となっています。

### 【出産されるお子さんは何番目のお子さんか】

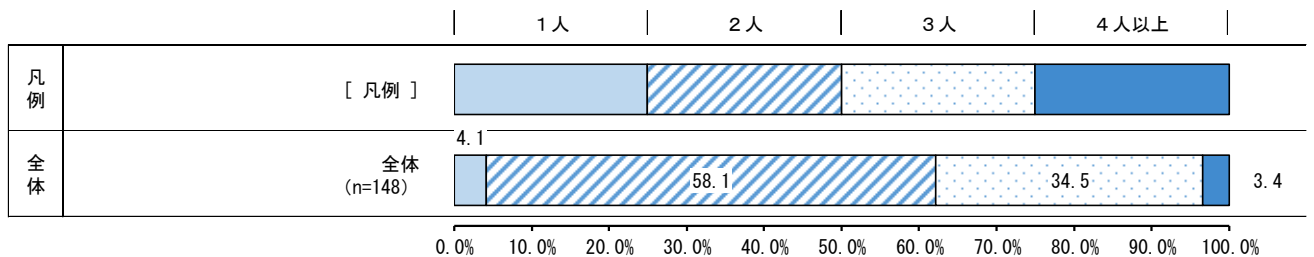


問6 あなたはお子さんを全部で何人欲しいとお考えですか。

### 【全体】

- ほしいと思うお子さんの人数について、「2人」が58.1%で最も多く、次いで「3人」が34.5%、「1人」が4.1%となっています。

### 【ほしいと思うお子さんの人数】





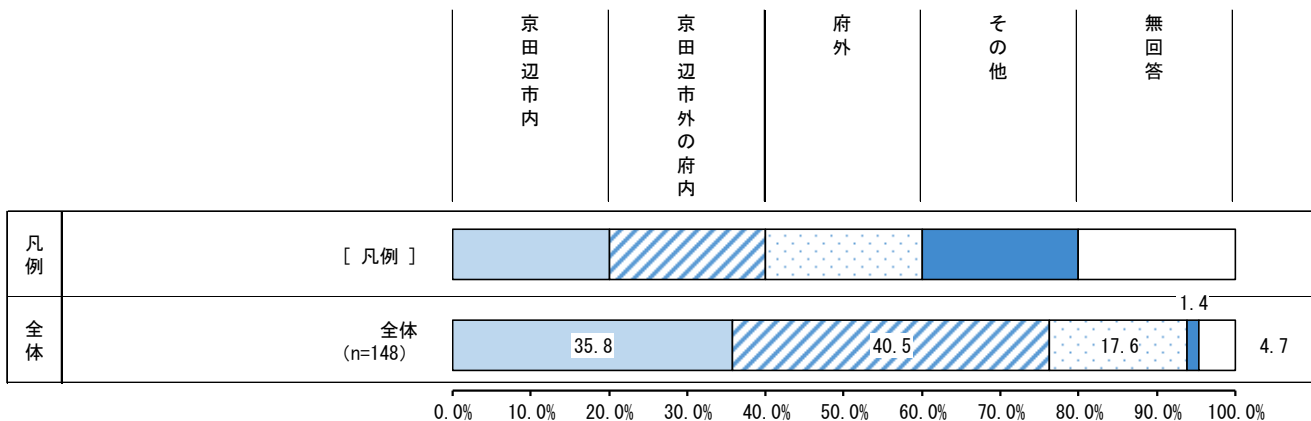
### 3. 出産場所や出産後に過ごす場所について

問8 あなたはどちらで出産する予定ですか。

#### 【全体】

- 出産予定の場所について、「京田辺市外の府内」が40.5%で最も多く、次いで「京田辺市内」が35.8%、「府外」が17.6%となっています。
- 「京田辺市外の府内」では、京都市（22件）、八幡市（15件）、宇治市（15件）、木津川市（1件）、亀岡市（1件）となっています。
- 「府外」では、大阪府（21件）、奈良県（1件）、滋賀県（1件）、香川県（1件）、広島県（1件）、山口県（1件）、静岡県（1件）、石川県（1件）、新潟県（1件）、鹿児島県（1件）、海外（1件）となっています。

#### 【出産予定の場所】

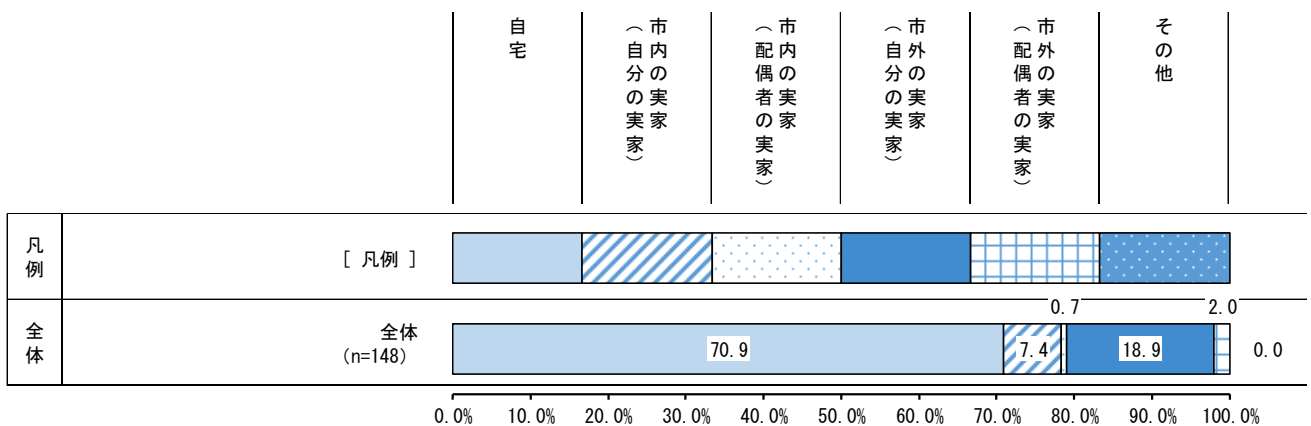


問9 お子さんの出産後はどちらで過ごす予定ですか。

#### 【全体】

- 出産後の過ごす場所について、「自宅」が70.9%で最も多く、次いで「市外の実家（自分の実家）」が18.9%、「市内の実家（自分の実家）」が7.4%となっています。

#### 【出産後の過ごす場所】

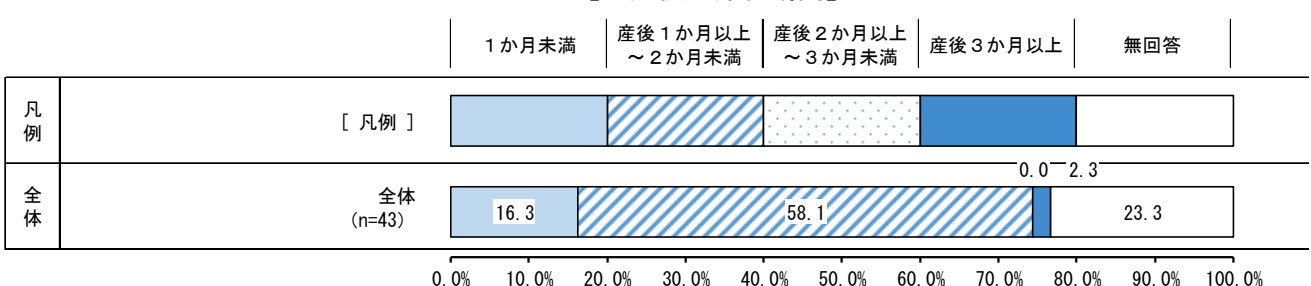


問10 出産後、自宅以外の場所で過ごす期間をお答えください。（問9で「1. 自宅」以外を選んだ方）

#### 【全体】

- 出産後の滞在期間について、「産後1か月以上～2か月未満」が58.1%で最も多く、次いで「1か月未満」が16.3%、「産後3か月以上」が2.3%となっています。

#### 【出産後の滞在期間】

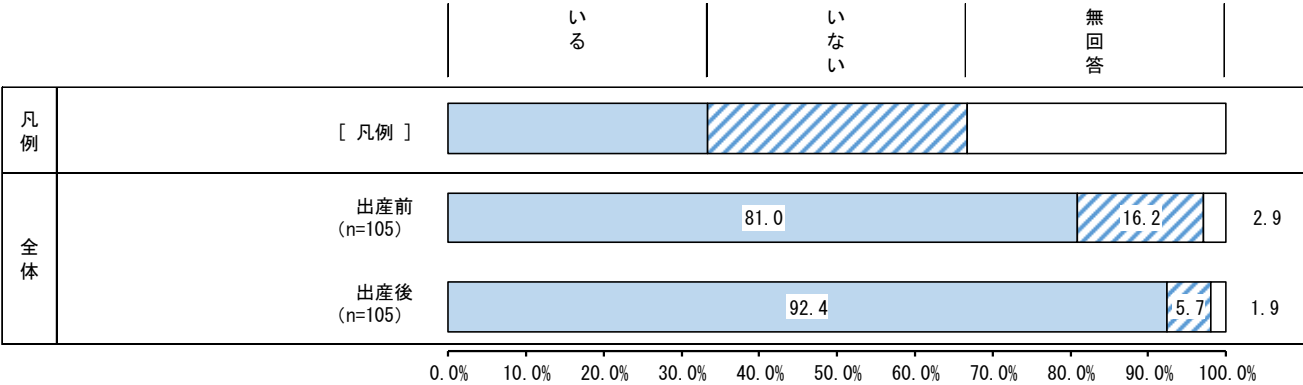


4. 出産前後のお手伝いについて

問11（１） 出産前にお手伝いをしてくれる方はいますか。（問9で「1. 自宅」を選んだ方）  
問11（２） 出産後にお手伝いをしてくれる方はいますか。（問9で「1. 自宅」を選んだ方）

- 【全体】
- 出産前後のお手伝いについて、出産前、出産後ともに「いる」が80.0%を超えており、多くなっています。
  - 出産前のお手伝いとして、配偶者（55件）、実母（41件）、義母（24件）、実父（9件）、義父（8件）、実きょうだい（3件）、義きょうだい（1件）となっています。
  - 出産後のお手伝いとして、実母（63件）、配偶者（60件）、義母（26件）、実父（9件）、義父（9件）、実きょうだい（2件）、義きょうだい（1件）となっています。

【お手伝いをしてくれる人はいますか】



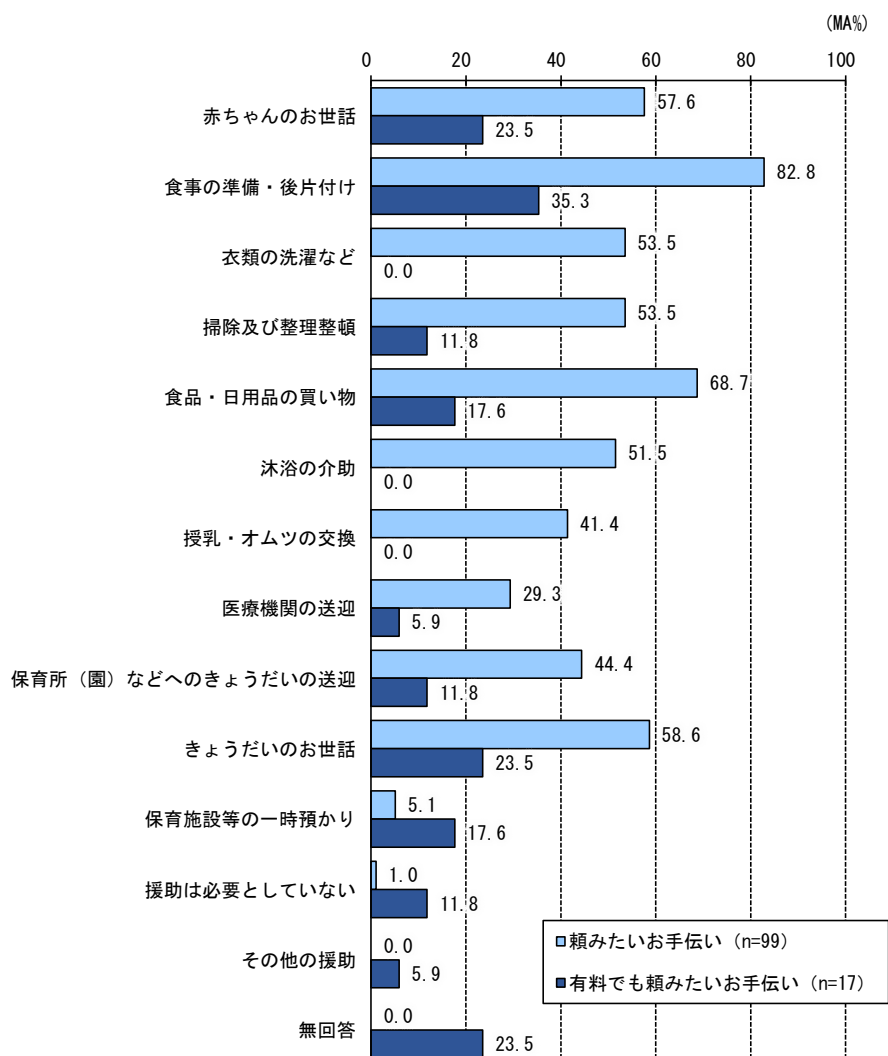
問12 どんなお手伝いをお願いしたいですか。(MA) (問11で「1. いる」を選んだ方)

問12-1 有料であっても受けたいサービスがありますか。(MA) (問11で「2. いない」を選んだ方)

【全体】

- 頼みたいお手伝いについて、「食事の準備・後片付け」が82.8%で最も多くなっています。
- 有料で頼みたいと思っている人は少なくなっている一方で、こちらも「食事の準備・後片付け」が35.3%で最も多くなっています。

【頼みたいお手伝い(MA)】



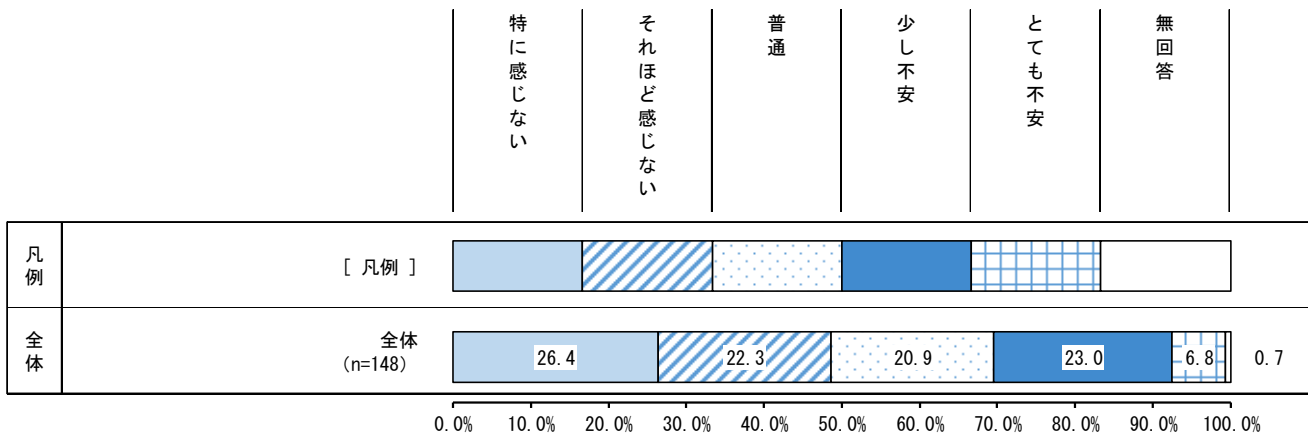
## 5. 妊娠への気持ちと相談先について

問13 今回の妊娠がわかったとき「不安な気持ち」はありましたか。

### 【全体】

- 今回の妊娠がわかったとき不安な気持ちはあったかについて、「特に感じない」が 26.4%で最も多く、次いで「とても不安」が 23.0%、「それほど感じない」が 22.3%となっています。

### 【今回の妊娠がわかったとき不安な気持ちはあったか】

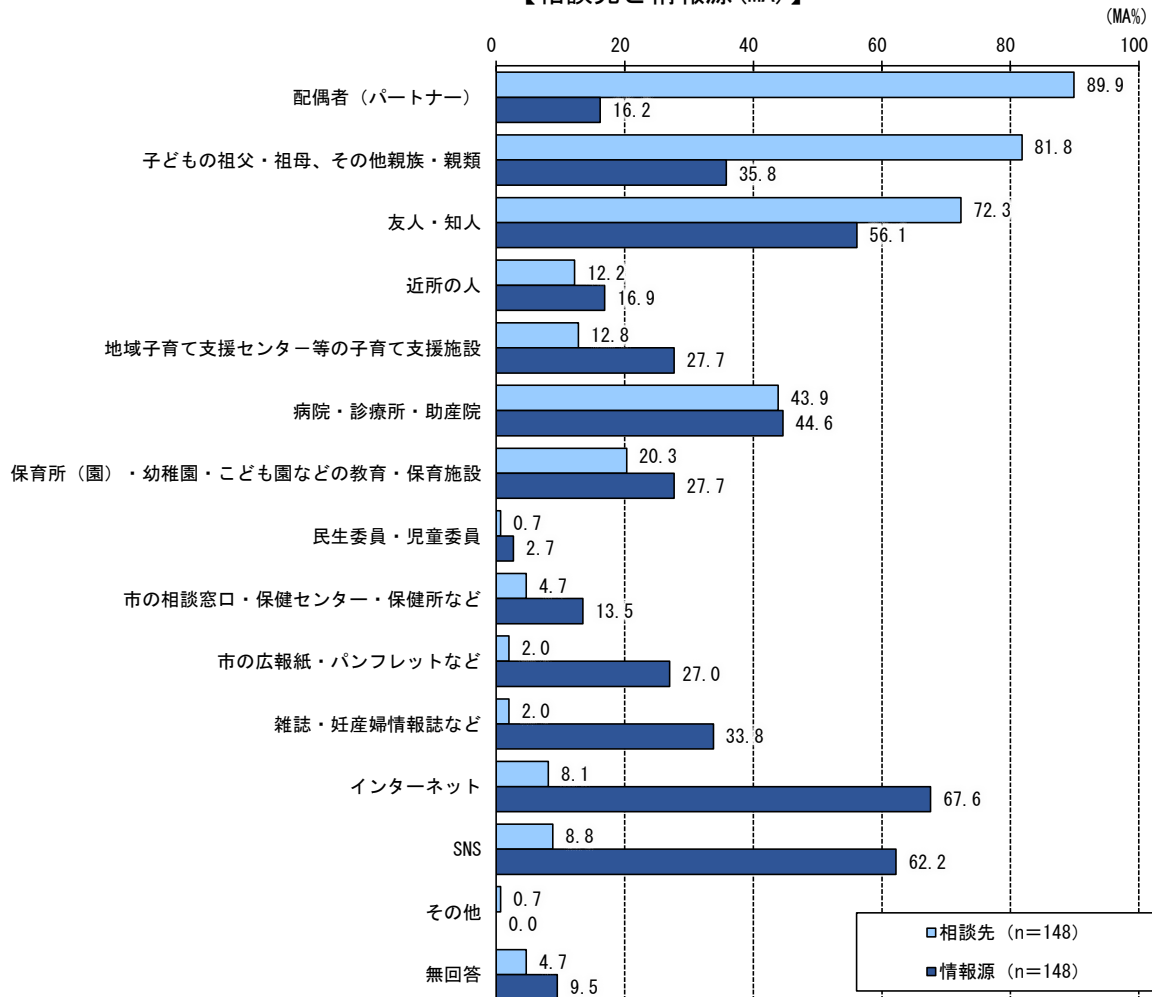


問14 (1) 出産や子育て・教育に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。また、出産や子育て・教育に関する情報は何かから得ていますか。(MA)

### 【全体】

- 相談先について、「配偶者（パートナー）」が 89.9%で最も多く、次いで「子どもの祖父・祖母、その他親族・親類」が 81.8%、「友人・知人」が 72.3%となっています。
- 情報源について、「インターネット」が 67.6%で最も多く、次いで「SNS」が 62.2%、「友人・知人」が 56.1%となっています。

### 【相談先と情報源(MA)】



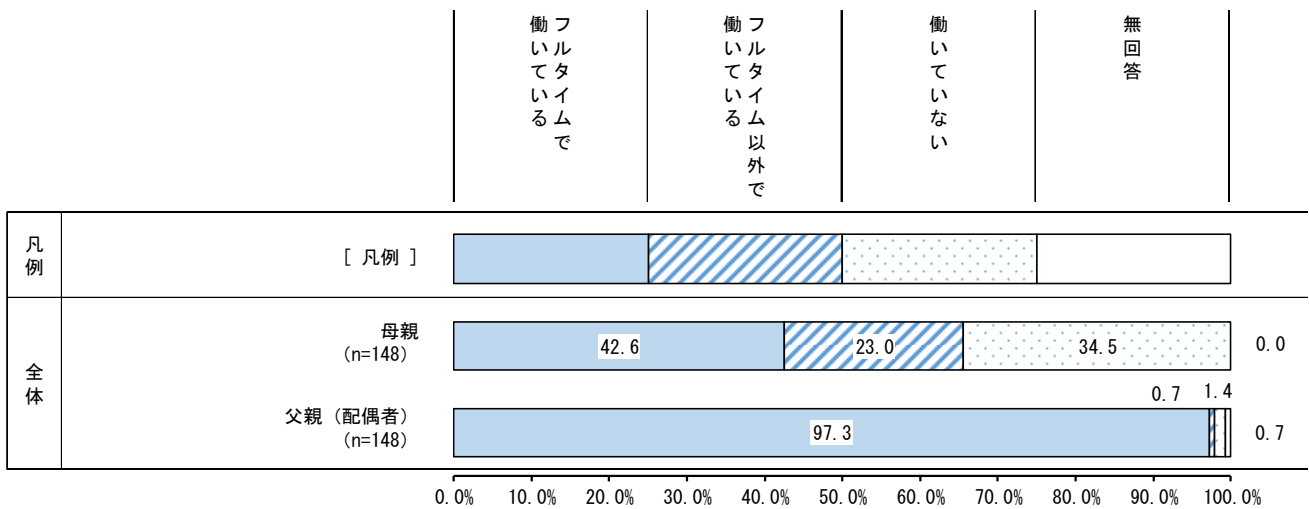
## 6. 就労状況、育児休業について

問16 現在は就労されていますか。

### 【全体】

- 就労状況について、母親、父親（配偶者）ともに「フルタイムで働いている」が最も多くなっていますが、母親では「働いていない」が約3分の1となっています。

### 【就労状況】

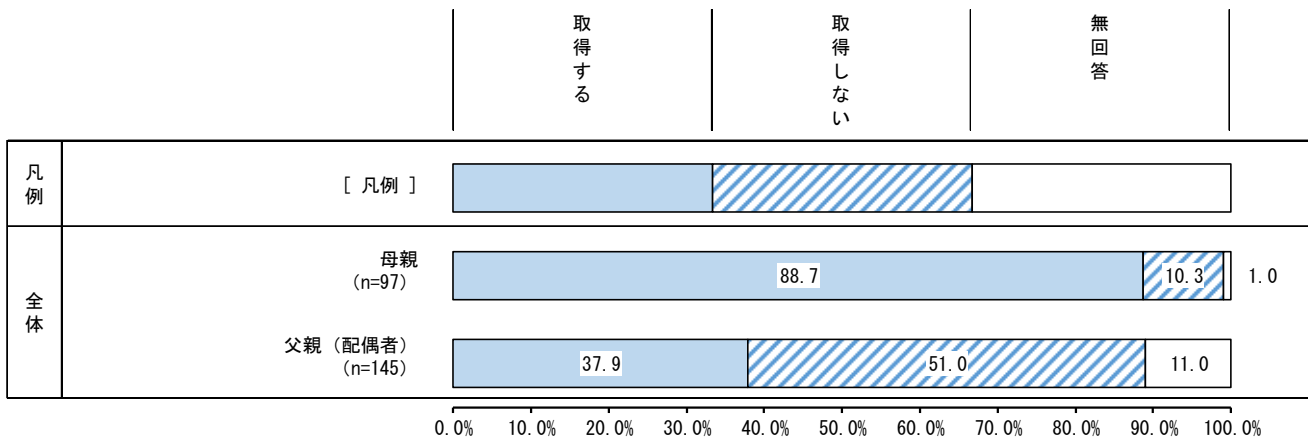


問17 育児休業を取得する予定ですか。

### 【全体】

- 育児休業の取得予定について、母親は「取得する」が88.7%と多くなっています。一方、父親は「取得しない」が51.0%と多くなっています。

### 【育児休業の取得予定】

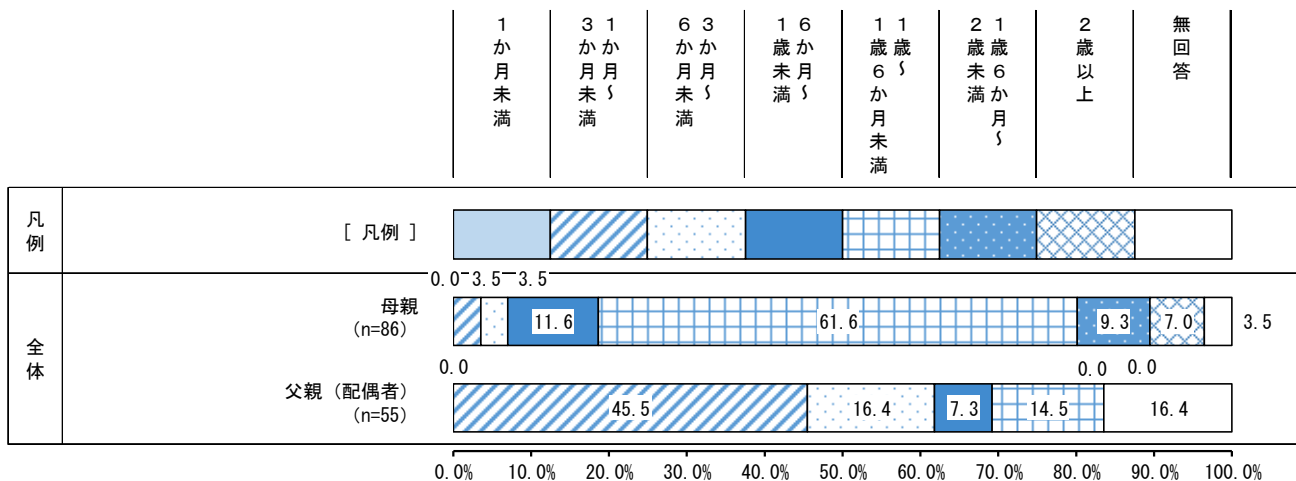


問17（1） 取得するときの子どもの年齢をお答えください。

【全体】

- 母親の育児休業取得時の子どもの年齢について、「1歳～1歳6か月未満」が61.6%で最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が11.6%、「1歳6か月～2歳未満」が9.3%となっています。
- 父親の育児休業取得時の子どもの年齢について、「1か月～3か月未満」が45.5%で最も多く、次いで「3か月～6か月未満」が16.4%、「1歳～1歳6か月未満」が14.5%となっています。

【育児休業取得時の子どもの年齢】

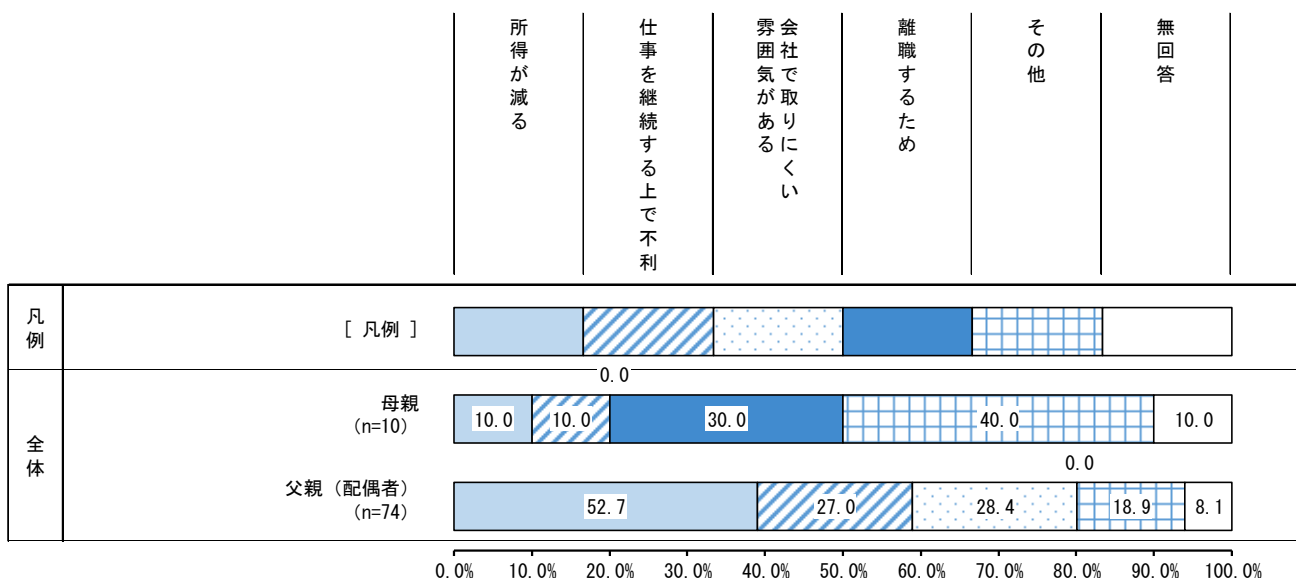


問17（2） 取得しない理由を教えてください。

【全体】

- 母親の取得しない理由について、「その他」が40.0%で最も多く、次いで「離職するため」が30.0%、「所得が減る」「仕事を継続する上で不利」が10.0%となっています。
- その他の内訳として、自営/個人事業主（2件）、育休制度がない（2件）、無職（1件）、取得困難（1件）となっています。
- 父親の取得しない理由について、「所得が減る」が52.7%で最も多く、次いで「会社で取りにくい雰囲気がある」が28.4%、「仕事を継続する上で不利」が27.0%となっています。
- その他の内訳として、自営/個人事業主（3件）、育休制度がない（2件）、在宅勤務（2件）、必要がない（2件）、取得困難（1件）、自由に休める（1件）、男性は取得しないと考えている（1件）となっています。

【取得しない理由】



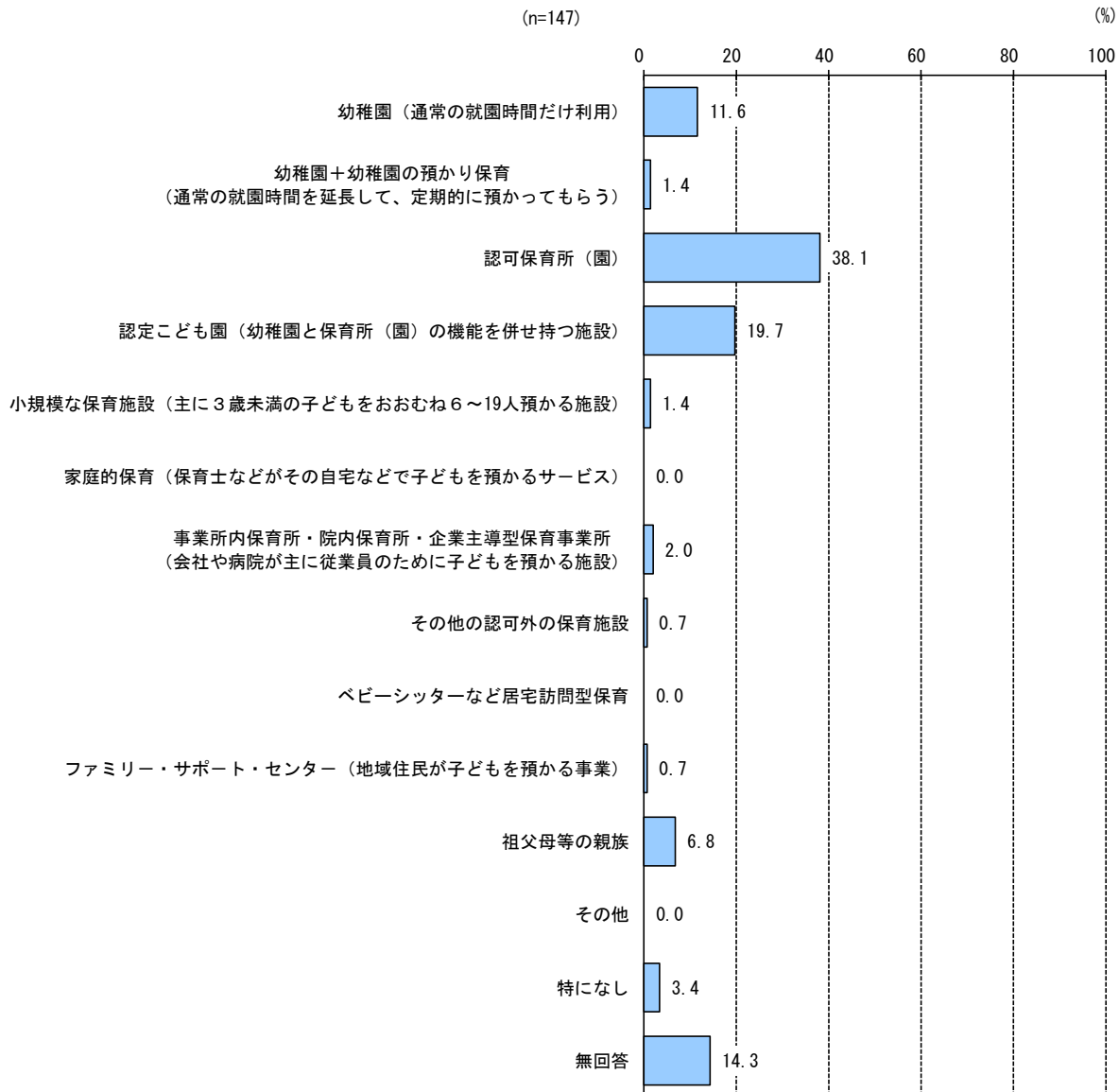
## 7. サービス・事業の利用について

問18 育児休業取得後または育児休業を取得しない場合に、日常的に現在妊娠中のお子さんを預ける施設として考えているものは何ですか。

### 【全体】

- お子さんの預け先として考えているものについて、「認可保育所（園）」が38.1%で最も多く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設）」が19.7%、「幼稚園（通常の就園時間だけ利用）」が11.6%となっています。

### 【お子さんの預け先として考えているもの】

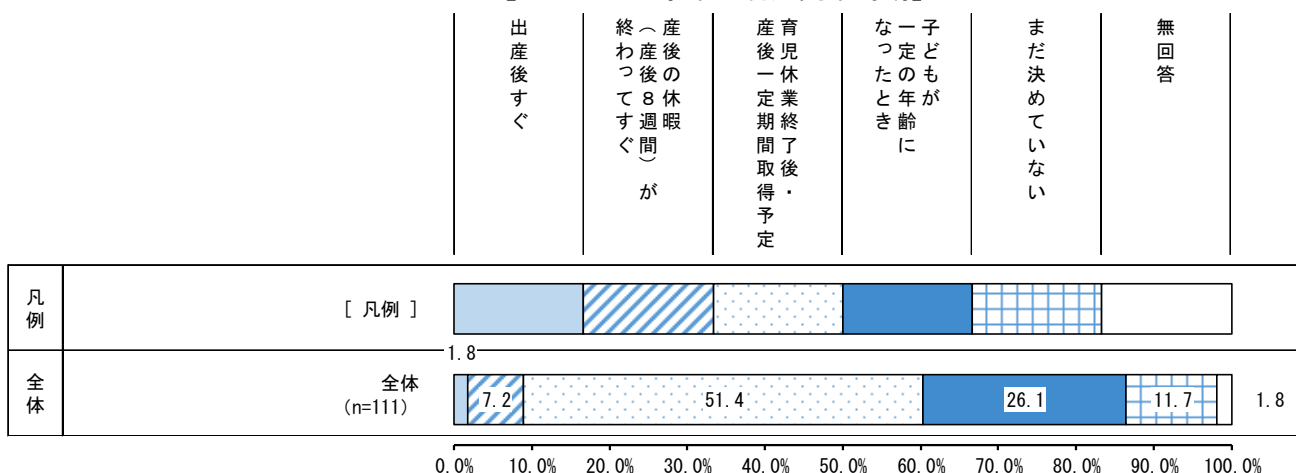


問19 いつからサービス・事業を利用したいですか。

【全体】

- サービス・事業の利用開始時期について、「育児休業終了後・産後一定期間取得予定」が 51.4%で最も多く、次いで「子どもが一定の年齢になったとき」が 26.1%、「まだ決めていない」が 11.7%となっています。

【サービス・事業の利用開始時期】

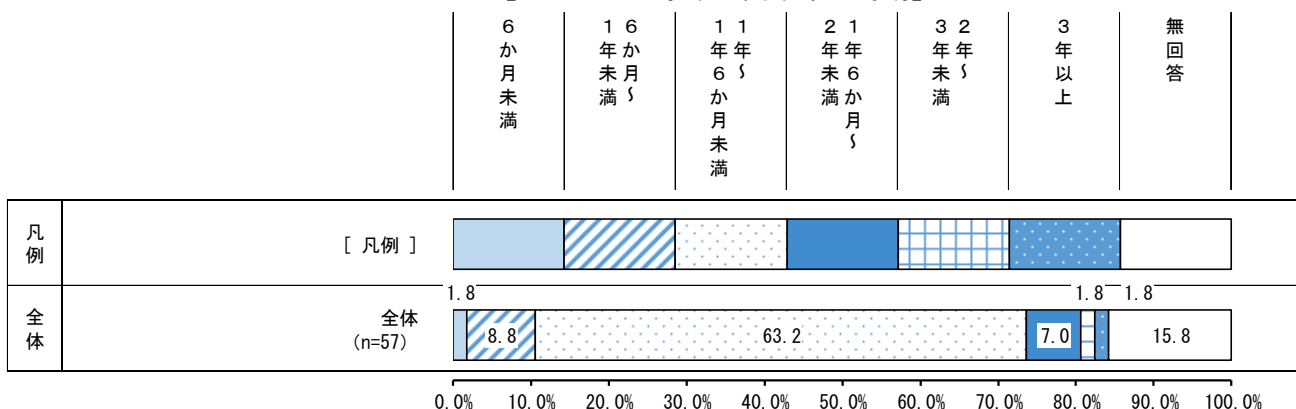


問19-1 育児休業終了後・産後のサービス・事業の開始希望時期をお答えください。(問19で「3. 育児休業終了後・産後一定期間取得予定」を選んだ方)

【全体】

- サービス・事業の開始希望時期について、「1年～1年6か月未満」が 63.2%で最も多く、次いで「6か月～1年未満」が 8.8%、「1年6か月～2年未満」が 7.0%となっています。

【サービス・事業の開始希望時期】

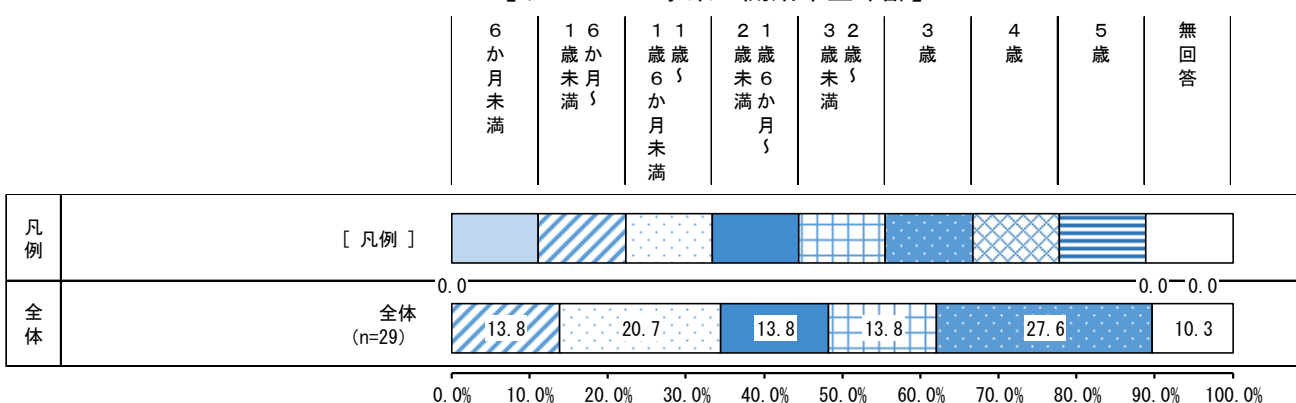


問19-2 お子さんが何歳になった際にサービス・事業を利用したいですか。(問19で「4. 子どもが一定の年齢になったとき」を選んだ方)

【全体】

- サービス・事業の開始希望年齢について、「3歳」が 27.6%で最も多く、次いで「1歳～1歳6か月未満」が 20.7%、「6か月～1歳未満」「1歳6か月～2歳未満」「2歳～3歳未満」が 13.8%となっています。

【サービス・事業の開始希望年齢】



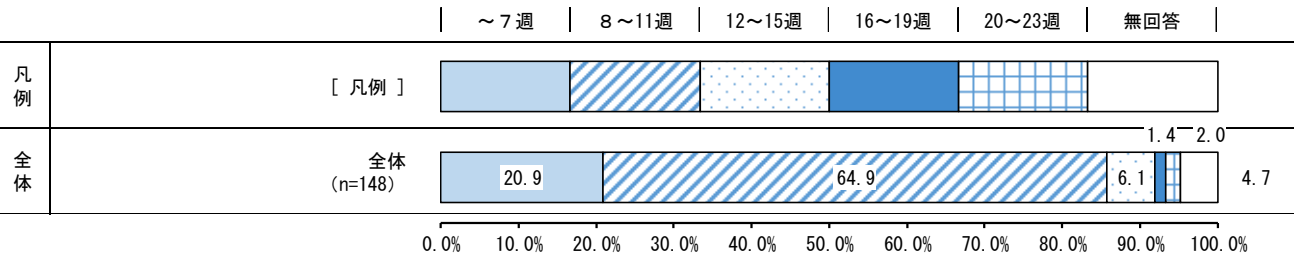


8. 子育てに関することについて

問 7 妊婦健康診査受診票は、妊娠何週から使用を開始する予定ですか。すでに使用している方は、使用を開始した妊娠週数をお答えください。

- 【全体】
- 妊婦健康診査受診票の使用開始時期について、「8～11 週」が 64.9%で最も多く、次いで「～7 週」が 20.9%、「12～15 週」が 6.1%となっています。

【妊婦健康診査受診票の使用開始時期】

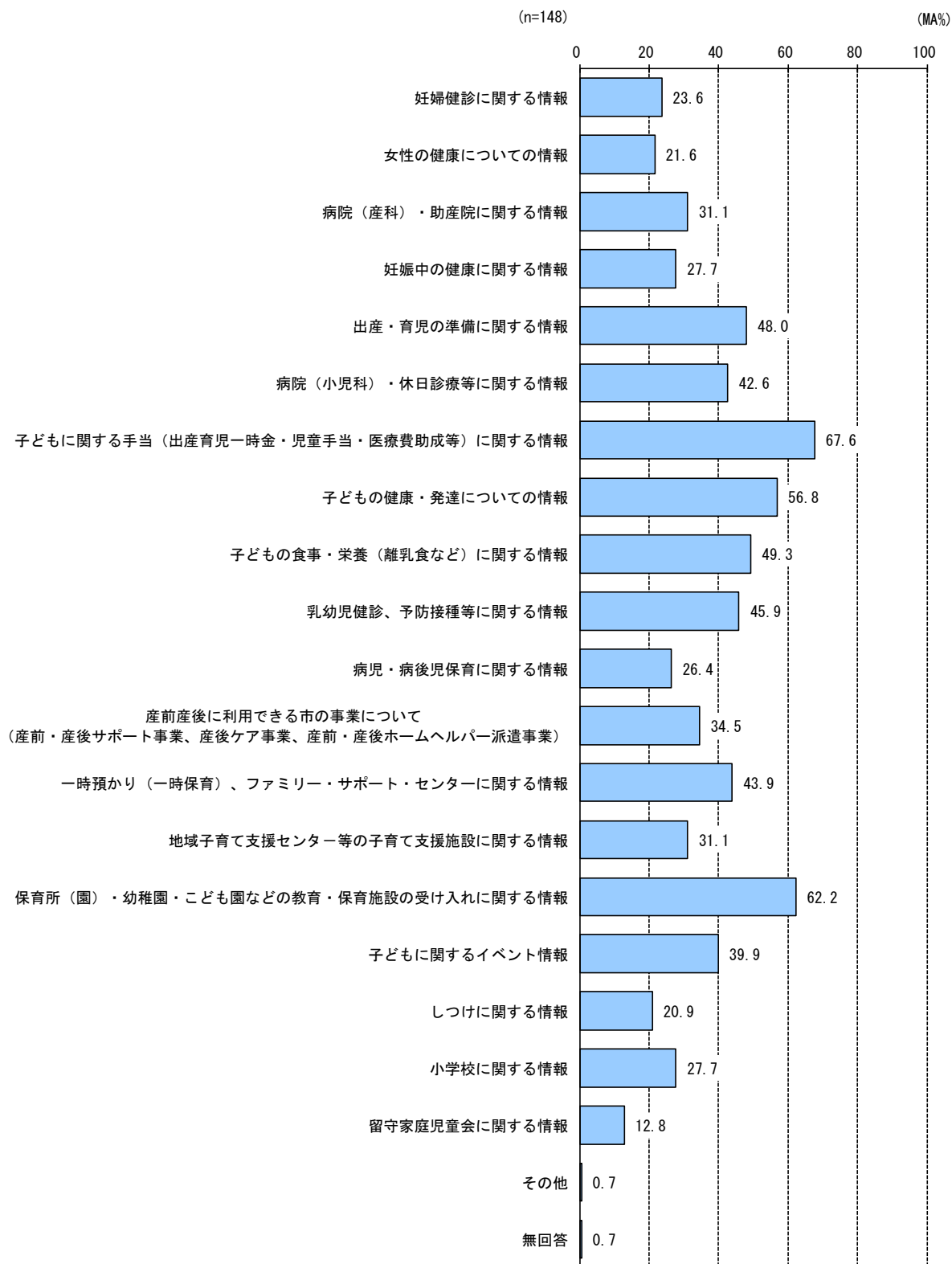


問15 あなたは、どのような情報を知りたいですか。(MA)

【全体】

- 知りたい情報について、「子どもに関する手当（出産育児一時金・児童手当・医療費助成等）に関する情報」が 67.6%で最も多く、次いで「保育所（園）・幼稚園・こども園などの教育・保育施設の受け入れに関する情報」が 62.2%、「子どもの健康・発達についての情報」が 56.8%となっています。

【知りたい情報(MA)】

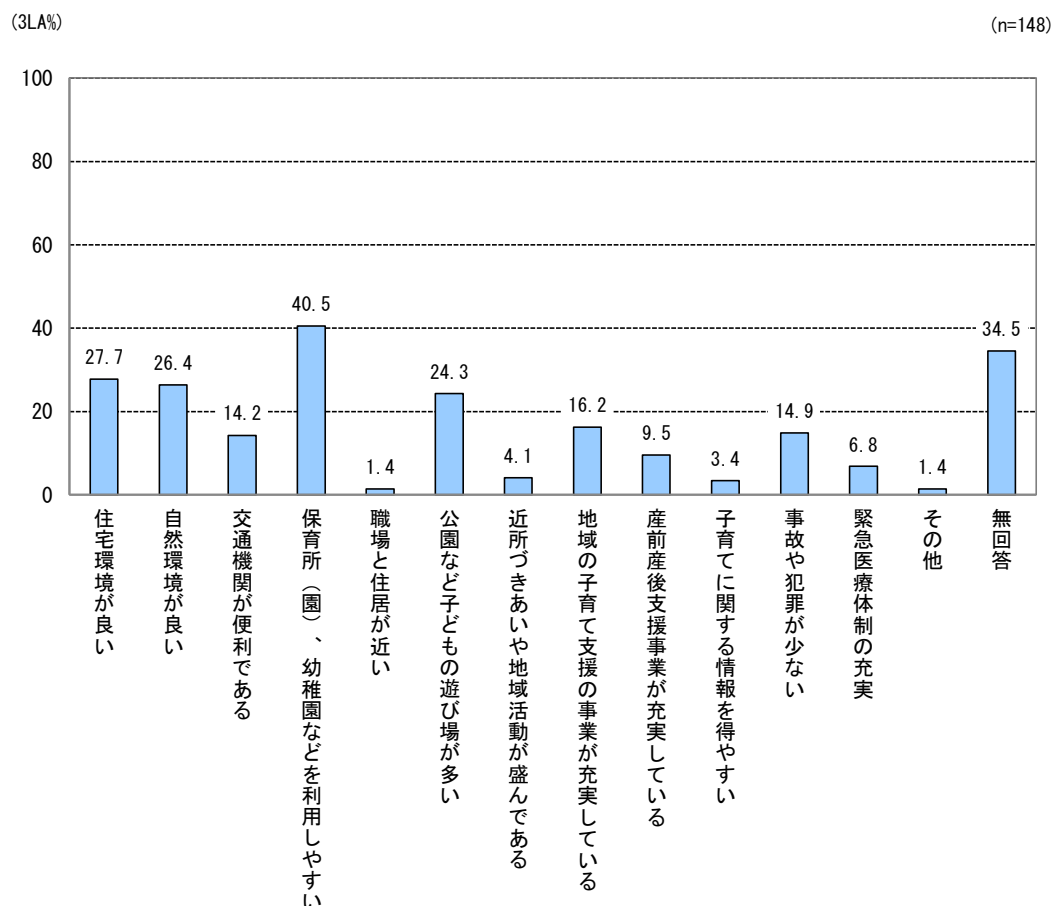


問20 「子育てしやすいまち」とはどのようなことだと思いますか。(3LA)

【全体】

- 「子育てしやすいまち」とはどのようなことだと思うかについて、「保育所（園）、幼稚園などを利用しやすい」が 40.5%で最も多く、次いで「住宅環境が良い」が 27.7%、「自然環境が良い」が 26.4%となっています。
- その他の内訳として、医療費無料や教育費、習い事への補助金、市政の情報を誠実に発信できる環境や議員がいることなどが挙がっています。

【「子育てしやすいまち」とはどのようなことだと思うか(3LA)】



問21 最後に、現在感じておられる不安や子育ての環境・子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

【全体】

- ご意見の分類について、保育園・学童（31件）、支援・補助（10件）、公園や、市内の設備（9件）、仕事・就職（8件）、収入（金銭）の不安（7件）、情報共有（6件）、施設・サービス（6件）、病院・病児保育（5件）、市の対応（4件）、母親自身・子育て（3件）、産休や育休（2件）、周囲の援助（2件）、検診（2件）、発達に不安のある子どもへの対応や居場所づくり（2件）となっています。
- その他、赤ちゃんや子どもの救命講習を学ぶ機会、公立の幼稚園やこども園でのバス運行などが挙げられています。

### Ⅲ 調査結果からの分析

#### 1. お子さんの人数について

出産予定のお子さんについては、全体の半数程度が第2子であり、次いで第1子、第3子となっています。また、理想的な子どもの人数に関しては、2人が最も多く、次いで3人、1人という結果が示されており、多くの家庭が複数の子どもを望んでいることがわかります。

#### 2. 出産場所や出産後に過ごす場所について

出産予定の場所として京田辺市外の府内が最も多く選ばれ、市内よりも市外での出産を希望する人が多く存在することがわかります。

また、出産後の過ごす場所に関しては、自宅で過ごす人が7割を超えていますが、市外の実家で過ごす人も一定数存在し、出産後の滞在期間では、産後1か月以上から2か月未満が約6割となっています。

#### 3. 出産前後のお手伝いについて

出産前後のお手伝いを必要としている人が多く、特に食事の準備・後片付けが8割以上の人に求められていることが明らかとなりました。多くの人が無償での支援を希望しているものの、有料でも食事の準備・後片付けを頼みたいと考えている人が一定数おり、特に食事関連の支援の充実が重要な課題であることが推測されます。

#### 4. 妊娠への気持ちと相談先について

今回の妊娠について、不安な気持ちを感じないと回答した人が約5割となっている一方、不安を感じる人も少なくありませんでした。

出産や子育て・教育に関する相談先としては、配偶者や親族、友人・知人の順で多かった一方、市の相談窓口・保健センター・保健所などの割合は少なく、無回答も一定数ありました。また、情報源としてはインターネットやSNSが6割を超えて主流となっていますが、友人・知人からの情報も半数以上と多くなっています。

#### 5. 就労状況、育児休業について

母親と父親の双方で「フルタイムで働いている」が最も多く、次いで「働いていない」、「フルタイム以外で働いている」が続いています。

育児休業の取得については、母親のほとんどが取得する一方、父親は取得しないと答える人が多くなっています。母親の育児休業取得期間は、主に子どもが1歳から1歳6か月未満の期間が多く、父親の場合は、子どもが1か月から3か月未満の期間が多いことがわかりました。育児休業を取得しない理由として、母親は「離職するため」が多く、父親は半数以上が「所得が減る」と、約3割が「会社で取りにくい雰囲気がある」「仕事を継続する上で不利」と回答しています。

## 6. サービス・事業の利用について

保護者が考えているお子さんの預け先として認可保育所（園）が最も多く、次いで認定こども園や幼稚園が挙げられています。

サービスや事業の利用開始時期については、育児休業終了後・産後一定期間に取得する予定の人が最も多く、その次に子どもが一定の年齢になったときが続いています。また、育児休業終了後・産後のサービス・事業の開始希望時期としては1年から1年6か月未満が最も多く、サービスの利用を開始する希望については3歳が最多で、次いで1歳から1歳6か月未満と回答しています。

## 7. 子育てに関することについて

妊婦健康診査受診票の使用開始時期は8から11週が6割以上と最も多く、続いて7週以内や12から15週となっています。

保護者が知りたい情報としては、子どもに関する手当などの情報が最も多く、保育所（園）や幼稚園などの教育・保育施設の受け入れ情報や子どもの健康・発達に関する情報も重要視されています。また、「子育てしやすいまち」としては、保育所（園）や幼稚園などの利用のしやすさが最も多く挙げられ、次いで住宅環境や自然環境の良さが続いており、保護者のニーズに応じた適切な情報提供や、育児支援環境の整備が求められていることが伺えます。